

優良 株式会社新日本コンサルタント

みなさまと共に創る，新たな未来

株式会社新日本コンサルタントは、昭和54年に富山県富山市で創業、37年目となります。創業以来、社会資本整備を支援する企業を目指して、人と自然が共生する豊かな都市空間・地域社会の未来を創造する総合建設コンサルタントとして、現在は北陸圏以外にも首都圏、大阪市に支店を設けて積極的に事業を展開している会社です。

同社では、社の行動指針として「品質」・「信頼」・「挑戦」をキーワードにあげています。まず、お客様からチャンスをもらい、「品質」の良い成果品を提供して「信頼」を得て、そして新たな事業に「挑戦」してそれをサイクルさせていくとしています。今回の受賞は、その一環の成果といえるのではないのでしょうか。

今回の受賞について市森社長に伺ったところ、「公共測量の品質に問題があるとその後の全ての成果品に影響するので、その物事の出発点を評価していただいたことは名誉であり大変嬉しく有り難い」、そして「今回の受賞を会社のHPに掲載し、新聞の受賞記事を全社員に配信したことで、受賞した社員のみならず全社員のモチベーションが上がったと感じている」と思いを語っていただきました。

同社では、ビジネスに対する考え方、社会人としてのマナーなど、社会人としての基本をしっかりと認識するために全社員を対象とした2日間の研修を毎年開催し、繰り返し教育を行っているそうです。他にも幹部社員研修の開催、日本測量協会主催の技術講習会等に積極的に参加させるなど、社員育成に積極的に取り組んでいる様子が窺えました。品質管理について空間計測部の堀江課長から「基本は確認と点検、それをしっかりと実行しています」との話をいただきました。「基本」を重視する社風が信頼される成果品を生み出していると感じました。

(取材：北陸支部技術センター 益子 栄)



写真左から
堀江課長
市森社長
米島常務

優良 株式会社テイコク

中期ビジョンの実現は、スローガン「G-WHAT³S」で実行します

株式会社テイコクは、昭和29年に岐阜市で創業して以来、地元岐阜を中心に東海エリアを主な活動エリアとしています。近年は、関東や東北地方にも活動範囲を拡げていて、平成24年に現社名に変更してからも、業績拡大を続けている会社です。

今回、品質管理優秀賞を受賞された会社の取り組み等について、柴田伸治社長と永田堅二計測ソリューション本部長ほかの方々に話を伺いました。

最初に、「品質管理優秀賞の受賞は平成22年に続き2回目であり、今回は選考対象が昨年度の測量成果であることから、ちょうど創立60周年の節目に受賞となったことはたいへん喜ばしいことです」と話されました。

品質確保の取り組みについては、測量系の技術者は約70名であり、これまでに経験した技術や点検システムを社内に展開しつつ全員の技術力アップを図り、品質確保につなげています。新入社員には、中堅社員がパートナーとなって1対1の技術指導を行うインストラクター制度を活用して、設定目標を達成するようにしています。

また、近年は40歳前後の中堅技術者を雇用や再雇用することで、社内の空白世代を埋めるとともに、即戦力として期待しつつ、新人の育成にも取り組むようにしています。

さらに、中期ビジョン実現のためのスローガンを「G-WHAT³S」と掲げて、社員一丸となって実行しています、と話されました。スローガンの意味は、Gはぎふ・グローバル、Wはウーマン・女性による新ビジネス、Hは北陸への新たな展開、Aはアブロード・海外展開、T³は東海・東京・東北への展開、Sはソリューションパートナー、ということです。取材中も会社の活気がヒシヒシと伝わってきました。

岐阜市は、織田信長公がこの地を岐阜と命名してから2017年が450年目となることから、そのカウントダウンパネルをJR岐阜駅前に設置しています。そのときには記念イベントで盛り上がることでしょう。

(取材：中部支部 技術センター 川原敏雄)



入口受付案内



柴田社長(中央)とともに